

研究大学強化促進事業
「若手リーダー海外派遣プログラム研究員（渡航型、オンライン型）」制度
学内選考実施要項

1. 趣旨

「若手リーダー海外派遣プログラム研究員」制度は、ウィズコロナ・ポストコロナにおいても、学内の優れた若手研究者が学術の将来を担い、これからの世界における研究の新たな潮流を創り出すことを支援するため、海外の優れた大学等研究機関（以下、「海外研究機関」という）のうち、研究大学強化促進事業実施委員会で定めた広義のベンチマーク校（ベンチマーク校及び海外連携校）において研究活動等を行う機会を与えるものです。

本学からその趣旨に相応しい若手研究者を支援するにあたり、この要項に基づき学内選考を行うものとする。

2-1. 選考方針及び選考方法（渡航型）

○選考方針

本制度を実施する若手研究者は、『研究大学強化促進事業「若手リーダー海外派遣プログラム研究員（渡航型、オンライン型）」公募要項』（以下、「公募要項」という。）に記載の本公募の趣旨等に沿い、各部局長から推薦された応募者の中から、以下の審査の観点に基づき選考を行う。

【審査の観点】※公募要項（渡航型）「4. 選考方法」より抜粋。

- （1）応募者が本プログラムでの派遣による経験を通じ、本公募の趣旨である「本学の研究の国際競争力の強化」に繋がることが十分期待できること。従って、本学、あるいは部局の研究戦略や重点領域の強化対策の一角を担うことができる提案であること。また、派遣期間終了後、派遣機関での実績を本学に還元する見込みのある提案を優先します。
- （2）申請書の派遣目的や研究計画が具体的であり、また応募者のキャリア形成における本派遣プログラムへの参加の位置づけが明確であり、本派遣により応募者が更に優れた研究者となることが十分期待できること。
- （3）応募者と派遣先機関、受入予定研究者との事前交渉が十分になされていること。なお、新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況を鑑み、必ずしも派遣先機関、受入予定研究者から受入れについての確約を得る必要はありません。
- （4）これまでの研究の延長ではなく、新たな学術領域を開拓・創生しようとする申請の採択を優先します。
- （5）応募内容が、公募要項に定めた内容であること。

○選考方法

本学から派遣する若手研究者は、次号で選任する「研究大学強化促進事業『若手リーダー海外派遣プログラム研究員』審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）において、第一次選考（書類選考）を行い、第二次選考（面接選考）を行った後、研究大学強化促進事業幹事会の審議を経て理事・副学長（研究担当）が決定する。

なお、審査委員会が第一次選考の結果により当該応募者について派遣することが適当であると認めた場合は、第二次選考を行わないことが出来るものとする。

2-2. 選考方針及び選考方法（オンライン型）

○選考方針

本制度を実施する若手研究者は、『研究大学強化促進事業「若手リーダー海外派遣プログラム研究員（渡航型、オンライン型）」公募要項』（以下、「公募要項」という。）に記載の本公募の趣旨等に沿い、各部局長から推薦された応募者の中から、以下の審査の観点に基づき選考を行う。

【審査の観点】※公募要項（オンライン型）「4. 選考方法」より抜粋。

- (1) 応募者と派遣機関との事前交渉が十分になされており、オンラインにより定期的にミーティングや研究会等へ参加する承諾が得られていること。
- (2) 応募者が本プログラムでの経験を通じ、本公募の趣旨である「本学の研究の国際競争力の強化」に繋がることが十分期待できること。従って、本学、あるいは部局の研究戦略や重点領域の強化対策の一角を担うことができる提案であること。また、期間終了後も、ホスト機関との交流を引き続き継続し、実績を本学に還元する見込みのある提案を優先します。
- (3) 申請書の目的や研究計画が具体的であり、また応募者のキャリア形成における本プログラムへの参加の位置づけが明確であり、本制度により応募者が更に優れた研究者となることが十分期待できること。
- (4) 応募内容が、公募要項に定めた内容であること。

○選考方法

本学から派遣する若手研究者は、次号で選任する「研究大学強化促進事業『若手リーダー海外派遣プログラム研究員』審査委員会」（以下、「審査委員会」という。）において、書類選考を行い、研究大学強化促進事業幹事会の審議を経て理事・副学長（研究担当）が決定する。

なお、ヒアリング審査は行いませんが、個別に状況等を確認する場合があります。

3. 審査委員会審査員の選任

審査員の選任にあたっては、次の①～③に掲げるとおりとし、研究大学強化促進事業幹事会の審議を経て理事・副学長（研究担当）が指名する。

- ①研究大学強化促進事業実施委員会幹事より数名。
- ②研究大学強化促進事業実施委員会委員より数名。
- ③上記のほか、理事・副学長（研究担当）が指名する者。

4. 審査における利害関係者の排除

審査員は、各応募者との関係において、次の①～⑤に掲げる項目に該当する場合、または該当すると自ら判断する場合は、当該応募者の審査を行わない。

- ① 応募者の所属部局長。
- ② 応募者と同一研究室に所属する者。
- ③ 応募者の指導教員。
- ④ 応募者と継続的な研究協力関係を有する者。
- ⑤ 応募者の友人・親族等、密接な個人関係を有する者。

5-1. 審査手順（渡航型）

審査は「2-1. 選考方針及び選考方法（渡航型）」の「○選考方法」のとおり、第一次選考（書類選考）及び第二次選考（面接選考）を原則とするが、審査委員会が第一次選考の結果により当該応募者について派遣することが適当であると認めた場合は、第二次選考を行わないことが出来る。

第一次選考（書類選考）及び第二次選考（面接選考）にあたっては、各審査員が応募者から提出のあった『研究大学強化促進事業「若手リーダー海外派遣プログラム研究員（渡航型）」申請書』（以下、「申請書」という。）の記載内容等について以下の点に留意の上、評価を行い、審査会の合議によって派遣候補者を選出し、研究大学強化促進事業幹事会の審議を経て理事・副学長（研究担当）が決定する。

○審査項目及び着目点

(1) 研究内容

着目点：以下のような研究活動に主体的に取り組んでいるか。

○研究の発想・着想、課題設定などにおいて、創造性・独創性が高い研究。

- 当該学問領域や学際領域における重要な基盤となる研究。
- 研究活動に関連する、ユニークな活動。
- (2) 派遣目的及び派遣先での研究計画
着目点：以下のような派遣目的に沿うものとなっているか。
 - 現在進行中、あるいは将来開始する最先端の研究を発展させるもの。
 - インパクトの高い共著論文執筆に必要な研究を行うもの。
 - 新たな学術領域を開拓・創生するため、本学にはない最先端の技術やアイデアを習得しようとするもの。
- (3) 本派遣により期待される研究成果
着目点：本派遣の結果、以下の成果が期待されるものとなっているか。
 - 本学における最先端の研究グループと海外研究機関との共同研究を促し、新たな学術領域を切り開くもの。
 - 本学の戦略的な学術研究の推進、「知のフォーラム」の準備や「知のフォーラム」開催後の共同研究、及び「海外リサーチステーション」との連携を強化するもの。
- (4) 研究実績
着目点：現在まで優れた研究活動を行い、十分な研究実績をあげているか。

5-2. 審査手順（オンライン型）

審査は「2-2. 選考方針及び選考方法（オンライン型）」の「○選考方法」のとおり、ヒアリング審査は行わず、書類選考のみの実施とするが、申請書で判断できない部分等については、個別に状況等を確認する場合があります。

選考にあたっては、各審査員が応募者から提出のあった『研究大学強化促進事業「若手リーダー海外派遣プログラム研究員（オンライン型）」申請書』（以下、「申請書」という。）の記載内容等について以下の点に留意の上、評価を行い、審査会の合議によって支援候補者を選出し、研究大学強化促進事業幹事会の審議を経て理事・副学長（研究担当）が決定する。

○審査項目及び着目点

- (1) 研究内容
着目点：以下のような研究活動に主体的に取り組んでいるか。
 - 研究の発想・着想、課題設定などにおいて、創造性・独創性が高い研究。
 - 当該学問領域や学際領域における重要な基盤となる研究。
 - 研究活動に関連する、ユニークな活動。
- (2) 実施期間中の目的及び派遣機関との研究計画
着目点：以下のような実施目的に沿うものとなっているか。
 - 准スタッフ的立場で広義のベンチマーク校に属する研究室等（ホスト）のミーティング等へ、オンラインにより定期的に参加することになっているか。
 - 派遣機関との国際共同研究等の実施、もしくは実施を目指すための取組になっているか。
 - 現在進行中、あるいは将来開始する最先端の研究を発展させるための取組になっているか。もしくは、そのための国際研究グループとのコネクション構築を目指す実施となっているか。
- (3) 実施により期待される研究成果
着目点：実施の結果、以下の成果が期待されるものとなっているか。
 - 本学における最先端の研究グループと海外研究機関との共同研究を促し、新たな学術領域を切り開くもの。
 - 本学の戦略的な学術研究の推進、「知のフォーラム」の準備や「知のフォーラム」開催後の共同研究、及び「海外リサーチステーション」との連携を強化するもの。
- (4) 研究実績
着目点：現在まで優れた研究活動を行い、十分な研究実績をあげているか。

6. 選考結果

選考結果を、推薦した当該部局長に通知する。